

みんなで
応援!!

参加
無料

おむつ交換や
休憩にご利用いた
だけのお部屋が
あります

障がいのある人・ない人、子どもから大人まで、みんなで一緒に楽しめる共生社会イベント

みんなで楽しもう
もっとつながろう

インクルーシブ あおもり

2026

とき

令和8年 **11月8日** 日
10:30～15:30

ところ

青森県総合社会教育センター
2階 大研修室
〒030-0111 青森市荒川藤戸119-7

体験・
展示ブース

10:30～15:30

みんなで楽しめる
プログラム

誰でも楽しめる **20分の1** の野球場

「ユニバーサル野球大会」を開催!

ご自由にご観覧ください♪みんなで一緒に応援しましょう。

子どもも大人も、
混ざり合えば楽しさ無限大!
青森東高校野球部も参戦!
一打逆転のミラクル連発!
栄冠をつかむのは、どのチームだ!?



迫力と温かみのある実況で
選手たちのプレーが熱くなる!

一般
体験会

13:00～14:00

どなたでも自由に
体験できます

キッチンカーも
やってくる!



タイミングよく
ひもを引くと、
ボールを前に飛ばす
ことができる!

写真:2023年「ユニバーサル野球INむつ」

お問い合わせ先

青森県健康医療福祉部
障がい福祉課社会参加推進グループ
TEL 017-734-9309



青森県



ユニバーサル野球

体験・展示ブース (10:30 ~ 15:30)

視線だけでゲームができる!? 視線入力 EyeMoT を体験しよう!

一般社団法人りあん

- EyeMoT(アイモット)は、画面を目で見つめるだけでパソコンを操作し、ゲームやお絵かきができる視線入力訓練ソフトです。
(岩手県立大学・伊藤史人講師開発)
- もともとは重度障がいのある方のために生まれましたが、年齢や障がいの有無に関係なく、どなたでも簡単に楽しめます。目で操作するワクワクと、視線入力で広がる豊かな可能性をぜひ会場で体験してください!



狙って、投げて、目指せナイスショット! ボッチャ体験

青森県障害者スポーツ協会

ボッチャは、ボールを投げて、目標にどれだけ近づけられるかを競うスポーツです。子どもから大人まで、障がいのあるなしにかかわらず、どんな方でも楽しめます。「スポーツはちょっと苦手…」という方も大丈夫! 気軽にチャレンジしてみよう!



みんなで「食べる」を楽しもう! スナック都ろ美 ようこそ!

スナック都ろ美

スナック都ろ美は、噛むことや飲み込むことに困りごとがある子をもつ親たちがはじめたコミュニティで、食の工夫や悩みを分かち合う場として全国の仲間とつながっています。
会場では配慮食の試食・試飲やサンプルをご用意しています。今困っている方も、いつかの未来のために知っておきたい方も、ぜひ気軽にのぞいてみてください!



自由な発想と色彩、あなたのお気に入りを見つけよう ART PLAYERS展 特別展示

社会福祉法人あーと(協力)

青森県立美術館で開催のART PLAYERS展(令和8年10月10日~25日)から作品の一部をお借りして、特別展示します。青森県立特別支援学校の生徒などによる自由な発想やありのままの表現を集めたアートをお楽しみください。

全力の瞬間! 熱いプレーをもう一度 青の煌めきあおもり障スポ展示

青森県健康医療福祉部 障がい福祉課

第25回全国障害者スポーツ大会青の煌めきあおもり障スポ(令和8年10月23日~26日)は、全国から選手が参加し、熱戦が繰り広げられる国内最大規模のスポーツ大会です。選手たちの輝く姿を写真や動画で振り返ります。

ユニバーサル野球大会

ユニバーサル野球大会 プログラム

実況

10:30 開会式

11:00 試合開始

13:00 ~ 14:00

一般体験会

どなたでも自由に体験できます

14:00 決勝戦

15:00 閉会式

※試合の流れで時間変更する場合があります。



●ユニバーサル野球とは

堀江車輛電装株式会社が開発した、誰もが一緒に楽しめる野球です。実際の約1/20サイズの球場で、障がいの有無や年齢にかかわらず、誰でもバッテリーボックスに立ち、みんなで野球を楽しむことができます。



内多 勝康(うちだ・かつやす)氏

1963年東京生まれ。東京大学教育学部卒業後、NHKに入局。「首都圏ネットワーク」「NHKスペシャル」「クローズアップ現代」等のキャスターを務め、阪神淡路大震災や東日本大震災の緊急報道にも携わる。2013年、社会福祉士の国家資格を取得。2016年にNHKを退職し、医療的ケアが必要な子どもと家族のための短期入所施設「もみじの家」のハウスマネージャーに就任(現在はシニアアドバイザー)。2021年より世田谷区医療的ケア相談支援センターの広報マネージャーを兼任。2025年、一般社団法人ソーシャルアクションジャパンを設立し、代表理事に就任。



【著書】

- 「医療的ケア」の必要な子どもたち
第二の人生を歩む元NHKアナウンサーの奮闘記(ミネルヴァ書房)
- 53歳の新人
NHKアナウンサーだった僕の転職(新潮社)